

検索
自衛隊宮崎地方協力本部
<https://www.mod.go.jp/pco/miyazaki/>
ホームページリニューアルしました!



Instagram Twitter Facebook HP

Miyazaki
 Provincial Cooperation office



宮崎地本だより

発刊元：自衛隊宮崎地方協力本部
 編集：募集課 広報班

お問い合わせ

宮崎県宮崎市東大淀2丁目1-39
 TEL & FAX 0985-53-2643



あけましておめでとうございます。読者の皆さまが、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より自衛隊宮崎地方協力本部が行っている多岐にわたる業務（①自衛官の募集（リクルート）・②退職自衛官の就職援護、③予備自衛官等の管理、④国民保護事態・大規模災害時の自治体等との連携 など）に対して、ひとかたならぬご支援ご協力を賜り、深謝申し上げます。

さて、我が国周辺の安全保障環境を見ますと、中国（中国共産党）は、人民解放軍を今世紀半ばまでに「世界一流の軍隊」とすることを目標に透明性を欠いたまま、国防費を高い水準で増加させ、軍事力の質・量を急速に強化しています。特に、その海上・航空戦力は、我が国周辺海域において活動を拡大・活発化させ、力を背景とする一方的な現状変更の試みを執拗に継続しています。また、中国は、極東地域において、依然として活発な軍事活動を続けているロシアと軍事的な連携を深める動きを見せており予断を許しません。

北朝鮮は、わが国全域を射程に収める弾道ミサイルを保持するのみならず、これまでにないペースで新型ミサイル等の開発を継続しており、我が国の安全に対する差し迫った脅威であるといえます。

一方、国内に目を転じますと、豪雨等に伴う甚大な自然災害が発生しています。宮崎県においても、台風14号の際、自衛隊は、宮崎県等とよく連携し、行方不明者捜索・給水支援活動の災害派遣活動を整齊と行いました。来るべき南海トラフ大地震に対しても、自治体等とも連携を深め、備えていく必要があると考えています。また、鳥インフルエンザ・豚コレラ（CSF）等に対する防疫措置等々・・・自衛隊の活動は多岐にわたっています。

このような国内外の厳しい状況を背景として、自衛隊に対する国民の期待は高まっていることを肌身で感じます。その期待に応えるべく、自衛隊は、あらゆる事態にも迅速かつ適切に対応し、日々訓練を重ね、精強化を図り、時として同盟国である米軍とともに、我が国の抑止力・対処力の更なる強化を図っているところです。

宮崎地本は、宮崎県と自衛隊をつなぐ「かけ橋」として、主として人的な防衛基盤の拡充に努めています。しかしながら、宮崎県内においても少子化・高学歴化が進展しているところ、コロナ禍に伴う経済情勢・社会情勢の不透明さも相まって、自衛官の募集（リクルート）環境はきわめて厳しい状況です。今年度も、昨年度に続き、宮崎県内高校卒業者の就職希望が過去最少レベルであり、その厳しさはこれまでにないほどです。また、自衛官の定年延長措置に伴う一時的な就職希望者の増加への対応、即応予備自衛官等の数的・質的な確保にも苦慮しているところです。

自衛隊は、自分たちの力のみで、その任をなし得るわけではありません。昭和45年、中曽根康弘防衛庁長官（当時）が防衛白書創刊にあたり『国の防衛には、何よりも国民の理解と積極的な支持、協力が不可欠である』と述べたように、皆さまのご理解・お力添えが必要です。皆さまには、自衛官の募集・退職自衛官に対する就職援護・予備自衛官等制度を取り巻く環境の難境にご理解いただき、これまで以上のご支援ご協力を頂けると幸甚です。

最後に、皆さまにとりまして、新しい年が穏やかで素晴らしい一年間となりますよう祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

宮崎地方協力本部の皆様には、日頃から県政の推進及び防衛協会の運営に温かい御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

長引くコロナ禍や昨年9月の台風第14号で甚大な被害が発生し、本県は「百年に一度」とも言うべき難局に直面しております。このため、県としましては、台風災害からの早期復旧はもとより、コロナ禍からの再生復興に向けきめ細かな施策を機動的かつ継続的に実施し、全力で宮崎の再生に取り組んでいくこととしています。

また、今後発生が危惧される南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害をはじめ、様々な危機事象への対応力強化に取り組む中で、自衛隊との連携・協力関係の強化に努めてまいりますので、皆様方には、引き続き、県民の安全・安心の確保にお力添えを賜りますようお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げまして、年頭の御挨拶といたします。



新年あけましておめでとうございます。宮崎地方協力本部の皆様には、日頃から大変お世話になっており、感謝申し上げます。

昨年は、コロナ禍や台風災害のため、自衛隊の隊務運営に多大な影響があったものと思います。また、県内では台風14号による災害、鳥インフルエンザによる災害派遣があり、大変ご苦労様でした。

我が国周辺においては、依然として、中国の東シナ海や南シナ海での活発な海軍活動や西太平洋への進出、空軍機の我が国への接近など我が国を取り巻く安全保障上の脅威が懸念される所です。また、ロシアのウクライナ侵攻は依然として続いており、長期化すると思われ、緊張感をもって隊務を運営されていることだろうと思います。

このような状況にあっても、自衛隊の源は「人」であり、その基本となる人材を選び、入隊させている地方協力本部の役目は一層重要なものになって来ております。

隊友会も、引き続き「国民と自衛隊のかけ橋」として募集や援護協力を努めてまいり所存であります。

地方協力本部の皆様もこの厳しい募集環境やコロナ禍のなか大変でしょうが、本部長を核心として、ますます一致団結してご活躍されとともに、皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、念頭の挨拶といたします。



宮崎県自衛隊家族会
会長 柳田 晃

令和5年の幕が開きました。健やかに新年をお迎えになった事とお慶び申し上げます。
 昨年、年末には治まって欲しいと願っていたコロナ禍が後手、後手に回る対応を嘲笑うかのように、今も感染を拡大させています。今後は納得のいく「With コロナ」対策を更に徹底させるのが最良だと思います。年頭らしからぬ挨拶となりましたが、極めて広範囲且つ深いダメージを与えている事に年金生活者の身でも脅威を覚えます。対人接触が大いに制限され、隊員募集・就職支援等地本の主要業務への悪影響もいかばかりかと大いに懸念されますが、団結してこれらの悪環境を打破し所望の成果を出しておられる地本の皆さんの昨今の活動に心からの拍手をお送りしたいと存じます。
 今年は、是非とも明るい話題が数多く沸き上がるような年になる様に期待しております。防衛予算がGDP 2%に飛躍的な増額になる事が真の最大の朗報になるためには、予算の積み上げ等の上滑りの議論ではなく本質的な問題の改善に着目されなくてはならないと思います。例えば「反撃能力」の保有とは採用システムのリストアップ（コスト）だけではなく、その前に議論し英知を結集すべきは「システムの全能発揮のためには卓越した術力の集中が不可分であり人的基盤の構築を可能にする解を得る事」であります。少子化対策、隊員処遇いわゆる魅力化等現在も存在する問題解決が防衛力強化の揺るぎない第一歩であると確信しています。
 人的基盤の確保の再前線にある地本の業務に追い風が少しずつでも吹き始めるよう祈念して、年頭の挨拶とします。



宮崎県自衛官
募集相談員会
会長 澤田 信吾

あけましておめでとうございます。
 宮崎地本協力本部の皆様におかれましては、ご家族お揃いで希望と健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は多忙な業務のなか、私共、自衛官募集相談員会に対しご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、ロシアのウクライナ侵攻は長期化の様相を呈し世界経済が減速・不安定化し、わが周辺では、中国の力による一方的現状変更、北朝鮮の弾道ミサイル発射など予断を許さない状況が続いており、自衛隊に対する国民の負託は増えています。このような中で、募集環境は少子高齢化社会に入り、ますます厳しくなっています。地方協力本部は、あらゆる募集広報に取り組み、自衛官募集、就職援護等任務完遂に邁進されていることに深く感謝しています。私たち自衛官募集相談員の誇りは、宮崎県出身者があらゆる所でご活躍している隊員の真姿が見られることです。これもひとえに地本の皆様方の努力の結晶だと思っています。私共も初心に帰り、一人でも多くの有能な対象者情報提供に更なる活動を進めて参りたいと思います。
 新しい年が、地方協力本部の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



自衛隊宮崎地方協力本部
OB会会長
大岐 継寛

あけましておめでとうございます。
 自衛隊宮崎地方協力本部の皆様におかれましては、今年こそはウイズコロナの中、活発に活動し、目標を達成しようと新春の誓いを立てられた事と思います。
 昨年も、変わらずのコロナ禍で大変な年でしたが、我々OB会活動に、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 昨年は、ロシアの突然のウクライナ攻撃で始まり世界を“あ”言わせました。中国、北朝鮮の行動も更に活発化しています。この様な情勢を鑑み、政府は「国家安全保障戦略」等安保3文書を「国家防衛戦略」等と変更し、内容も大きく充実しようとしています。今後とも積極的に各界の意見を聴取し、内容の充実が図られる事を切に希望します。
 協力本部は、この様な情勢の中募集、援護、広報等に積極的に活動されています。厳しい状況ですが、健康に留意し、一層努力される事を切に願っています。我々OB会も会勢を充実させ、微力では有りますが一層の協力が出るよう努力いたします。
 寒さ厳しい折ですが、本部長を核心に一層のご活躍・ご発展・ご健康をお祈り申し上げます。

【西部方面総監感謝状伝達】



生目幼稚園の園児と記念撮影

令和4年10月14日(金)に学校法人坂本学園生目幼稚園において、西部方面総監感謝状(援護功勞)伝達を実施しました。平成22年から若年定年制退職自衛官を継続して雇用いただいているほか、退職自衛官インターンシップ事業にも積極的にご協力いただいております。宮崎県における就職援護基盤の充実強化に多大なる貢献をされていることから、今回西部方面総監感謝状を受賞しました。

【海上幕僚長感謝状贈呈】



ホテルグランドヒル市ヶ谷東館2階

令和4年11月18(金)に令和4年度自衛隊記念日における感謝状贈呈式が行われました。日向広域艦艇協力会副会長の夏井美津子氏に対し入港歓迎行事の企画・実行及び、関係協力団体や市民に対する広報を通じての防衛意識の普及、家族会への入会を推進され、家族会の充実発展に尽力されたことが認められ海上幕僚長より感謝状を授与されました。

【予備自永年勤続者表彰】

おめでとうございます！



記念撮影(都城駐屯地)

西部方面総監表彰
(永年勤続10年)
予備陸士長
久保田 浩一



記念撮影(えびの駐屯地)

防衛大臣表彰
(永年勤続30年)
予備陸曹長
椎葉 文明



記念撮影(えびの駐屯地)

本部長表彰
(永年勤続5年)
予備3等陸佐
林 芳敏
予備3等陸尉
木崎原 正
予備准陸尉
瀬戸口 浩
予備准陸尉
田方 英信
予備准陸尉
田中 洋一
予備准陸尉
森田 広志

予備3等陸尉
松元 清之
予備3等陸尉
松下 優一
予備准陸尉
大野 勝正
予備准陸尉
押川 忠広
予備准陸尉
村田 秀樹
予備陸曹長
松浦 雄二



記念撮影(都城駐屯地)

本部長表彰
(永年勤続5年)
予備准陸尉
池田 昌彦
予備3等陸佐
江崎 隆一
予備2等陸尉
藤村 宏一
予備陸士長
相良 幸絵



記念撮影(都城駐屯地)

西部方面総監顕彰状
(最終任期満了者)
予備准陸尉
長倉 浩貴
予備1等陸尉
佐藤 裕実
予備准陸尉
富田 政義

予備2等陸佐
岡元 正一
予備陸曹長
池田 浩徳
予備陸曹長
斎藤 正



記念撮影(えびの駐屯地)

方面総監顕彰状
(最終任期満了者)
予備3等陸尉
上園 久美
予備3等陸尉
上野 耕一
予備3等陸尉
馬場 正一
予備准陸尉
本吉 重喜
予備准陸尉
小野 秀年
予備陸曹長
窪谷 泰浩

総務課



総務課一同、兔のようにさらに飛躍します。

副本部長



明るく、楽しく、前向きに飛び跳ねます！

援護課



【二兎を追う者は一兎をも得ず】とならない様1兎1兎（1歩1歩）力を合わせて頑張ります。

募集課



【豹変】この厳しい募集環境が続くなか、改革の努力を惜みず、失敗を恐れず目的達成のため課員一丸となって変化していく決意です。

延岡出張所



今年は「飛躍」できる年となるよう全力で頑張ります。

高千穂連絡所



高千穂牛日本一！高千穂募集日本一！

日向地域事務所



うらかな一年に！さらに飛躍できる一年に！ぎあ（ギア）を一段と上げていきます！

新田原分駐所



「今年もよろしくお祈いします。」



宮崎地方協力本部



Provincial Cooperation office
Miyazaki
2023
HAPPY NEW YEAR



宮崎県庁舎前

宮崎募集案内所



今年は『ピョンピョン』飛躍する1年にするぞ~!!

えびの援護センター



今年も何事にも前向きにコツコツ頑張ります。

都城援護センター



明けましておめでとうございます。日々の業務について創意を尽くしセンター一丸となり、努力していきます。宜しくお願い致します。

小林地域事務所



ウサギが跳ねるように大きく飛躍する小林所になりますように。

都城地域事務所



パワー

日南地域事務所



一路邁進

【国家を守る公務員】自衛官募集中!!

永年勤続 25年表彰



援護課 陸曹長 松田 哲也

宮崎地方協力本部（本部長 石原信也 1等空佐）は11月1日、本部庁舎において永年勤続者に対して表彰伝達を実施した。今回、宮崎地方協力本部から5名が永年勤続表彰を受賞したが、表彰者を代表して、援護課予備自衛官班の松田曹長から「25年を振り返り【感謝】の言葉が思い浮かびます」との謝辞があった。それは、丈夫な体に育ててくれた両親、自衛隊入隊後情熱と愛情をもって指導してくれた上司・先輩、苦しい時・つらい時を助け合い一緒に乗り越えた同期・同僚そして自分を支えてくれる家族への感謝であった。特に「妻の献身的な支えや子供たちの日々元気な姿が、自分自身にとって大きな励みとなり永年勤続25年という大きな節目を迎えられた」と何度も感謝の言葉を口にした。そして、「この謝辞を通して今まで出会った人や支えて頂いた方々に感謝の気持ちが少しでも伝われば嬉しい」と述べた。今後は、「これまでの人生で培った知識・経験を生かして、1人前の自衛官、社会人として誇りをもって勤務していく」と目標を語った。

新田原基地エアフェスタ2022



第一空挺団による落下傘展示

ギリースーツ体験

BMOによる制服試着体験

地上展示風景

偵察バイクで記念撮影

恒例のガチャガチャ開催

宮崎地本のマスコット 隼人くんと記念撮影

令和4年12月3日（土）及び4日（日）航空自衛隊新田原基地において新田原基地エアフェスタ2022が実施されました。3日は晴天に恵まれましたが、4日は生憎の雨天となりました。2日間で延べ2万5000人の来場者が訪れ、会場ではF-15J/DJ・U-125A・UH-60J等が航過飛行や機動飛行、第一空挺団が落下傘展示で盛り上げ、観客から大きな歓声が上がりました。宮崎地本は、第1格納庫の中でF-15戦闘機などの地上展示との共同で募集広報ブースを開設し、第42即応機動連隊・第43普通科連隊（HM中隊）・海上自衛隊佐世保地方総監部（BMO）の支援を頂き装備品展示、制服試着（記念撮影）、ガチャガチャ、宮崎J隊FAN★CLUB等のブースを展開し沢山のご家族連れなどで賑わいを見せました。

職場体験学習インターンシップ（日向工業高等学校）



所長による自衛隊の教育

偵察バイクと記念撮影

至近距離射撃訓練見学

艦艇航海での記念撮影

LCAC添乗員と記念撮影

別府駐屯地での体験喫食

消防車放水体験

宮崎地方協力本部は、令和4年10月19日（水）～21日（金）宮崎県立日向工業高等学校職場体験学習（インターンシップ）を実施しました。日向地域事務所（所長 小田1尉）が主体となり、19日は日向所の事務所において自衛隊の業務に関する教育、お倉ヶ浜海岸でLCAC訓練を見学しました。20日は陸上自衛隊別府駐屯地で体験試乗・至近距離射撃訓練見学・体験喫食をしました。21日最終日は海上自衛隊佐伯基地において、基地内の見学・説明、消防車の放水体験や支援船による体験航海を実施しました。参加した学生に自衛隊の仕事を理解する絶好の機会となりました。学生からは感謝の言葉をいただきました。支援して頂いた各部隊・基地の関係者の方々ありがとうございました。

令和4年度西池小フェスタ



日向と記念撮影

装備品（背のう）体験

VR体験に夢中

人命救助セット展示説明

令和4年11月12日（土）に宮崎市立西池小学校においてPTA役員の主催による令和4年度西池小フェスタが実施されました。広報ブースでは宮崎所と本部でVR体験・装備品等の体験・人命救助セットの見学・制服試着体験等を実施、第43普連第2中隊からは装備車両展示支援をいただきました。PTA会長からも感謝のお言葉をいただきました。

艦艇広報・輸送艦「しもきた」【一般公開】



艦内で記念撮影

LCAC訓練（お倉ヶ浜）

輸送艦「しもきた」

令和4年12月17日（土）日向市細島港において、輸送艦「しもきた」の艦艇広報一般公開をしました。午前中は歓迎行事が実施され、午後から一般公開となり、艦内の中やLCAC等の見学を行いました。本部（日向所）についても制服試着や着ぐるみ（なぎさ）との記念撮影、宮崎J隊FAN★CLUBを設置したくさんの来場者に来ていただき盛大に行われました。

【定年退官者紹介】

永年の勤務、お疲れ様でした。

【永年勤続者表彰紹介】



見送られる肥後三尉

総務課
三等陸尉 肥後 浩昌
令和四年十一月四日付



援護課と記念撮影

えびの援護センター
三等陸尉 谷川 克美
令和四年十一月十七日付



宮崎所員と記念撮影

宮崎募集案内所
二等陸尉 西田 茂
令和四年十二月二十六日付



援護課と記念撮影

都城援護センター
准陸尉 多田 修一
令和五年一月五日付



本部長と記念撮影（地本玄関前）

募集課
事務官 濱田 泰臣
総務課
事務官 池上 智志
援護課
陸曹長 松田 哲也

募集課
一等海曹 清藤 寿久
宮崎募集案内所
一等陸曹 緒方 慎